

2026年1月14日

各 位

碧海信用金庫

**有限会社宮田工業との
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について**

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、有限会社宮田工業（代表取締役：宮田 昭久）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客様の脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客様と共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんSLL」について

本商品は、お客様がサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO₂排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：有限会社宮田工業

作業所所在地：愛知県知多郡東浦町生路生栄五区2

代 表 者：宮田 昭久

事 業 内 容：型枠工事/土木工事/外構工事

3. 契約内容

実 行 日：2025年12月26日

期 間：5年

融 資 金 額：非公表



2026年1月14日に贈呈式を行いました。
(写真右)宮田社長

以 上

有限会社宮田工業 サステナビリティ・リンク・ローン概要

【有限会社宮田工業の概要】

<https://miyatakogyo19930415.com>

- ・有限会社宮田工業（以下：当社）は平成4年5月に法人設立した型枠工事業者です。
- ・愛知県内を中心に型枠工事・土木工事・外構工事を専門に請け負い、設計から工事まで一貫した対応を強みとして満足度の高い施工を心掛けます。
- ・快適な環境を創る建設業に誇りを持ち、街づくりを通して地域社会への貢献を目指します。

<当社の事業領域>

	◆ 型枠工事 型枠工事は、コンクリート構造物を成形する重要な工程である。 木材や金属で型枠を組み立て、コンクリートを注入・固化させる。精度の高い施工が要求され、構造物の品質と安全性に直接影響する、建設現場で不可欠な作業である。
	◆ 土木工事 土木工事は社会基盤施設の建設・整備を行う重要な分野である。 道路、橋梁、トンネルなどのインフラ整備から防災工事まで幅広く、安全性や機能性を考慮しつつ環境との調和も重視する。社会発展と生活向上に直接寄与している。
	◆ 外構工事 外構工事は建物周辺の屋外空間を整備する工事である。 舗装、フェンス設置、植栽、照明・排水設備の整備などを行い、建物の機能性と美観を高める。利便性、快適性の向上に加え、プライバシーや防犯対策も考慮される重要な工事である。

<当社のサステナビリティ>

➤ 環境との調和を重視した土木工事

インフラ工事や建物建設現場において、環境との調和を重視した工事を行うことでより、社会に貢献する。

➤ 社員成長をサポート

従業員が健康的に働けて能力を発揮できるよう、福利厚生の充実や環境づくりに注力する。また、型枠施工技能士等の資格取得のサポートや、現場経験を積む環境が充実しており、名実ともに型枠工事・土木工事のプロに成長することができる。

➤ 電動車両の導入

CO₂排出を抑える取り組みとして、営業車両を随時電動車両に切り替えている。今後もカーボンニュートラル達成に向けて車両の電動化を推進する。

<カーボンニュートラルへの取り組み方針>

➤ 「営業車両の電動化推進」及び「現場立地を考慮した受注選定」

従来の車両電動化の取り組みを引き続き推進することで、Scope1におけるCO₂排出量の削減を推進する。また、従来は遠方の現場対応も行っていたが、当社の移動効率を考慮し、近隣の現場工事の受注を優先することで当社車両の移動に伴うCO₂排出量の削減を推進する。

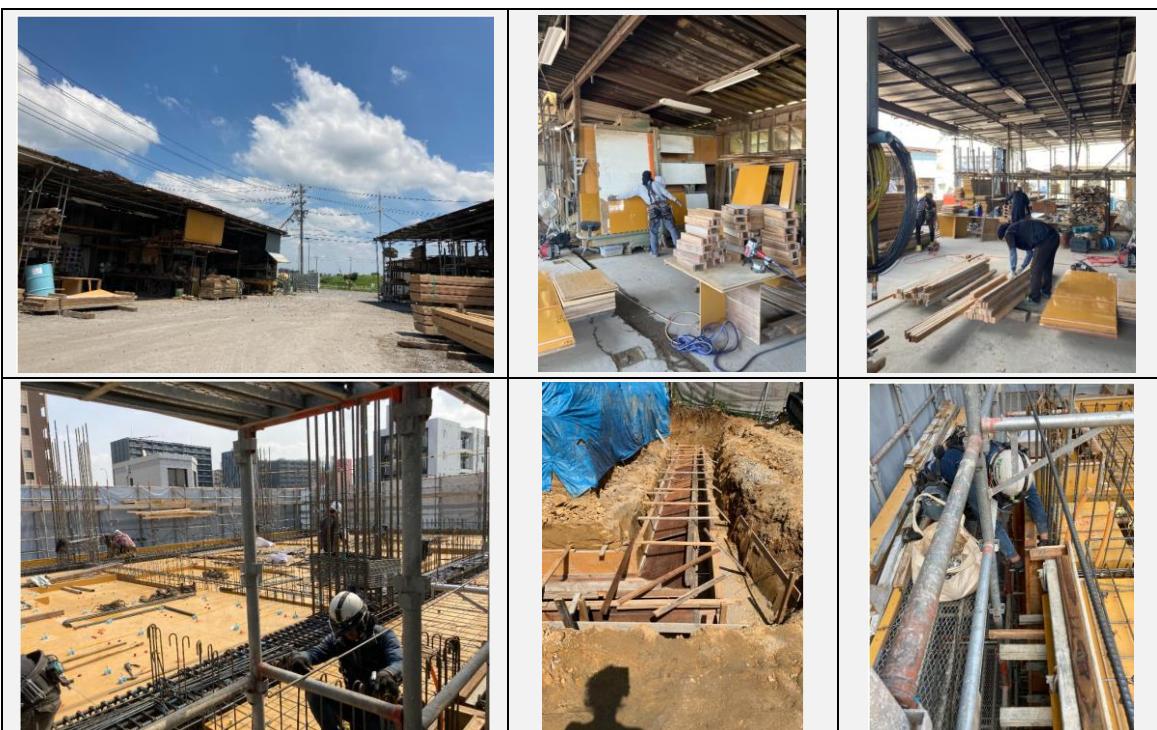
➤ 再エネ由来の電力利用検討

太陽光発電やグリーン電力の活用を通して、再エネ由来の電力利用を今後検討する。

➤ 作業現場に併せた工事関係事業者の最適化

現場の立地に併せて取引先や協力業者の最適化を図ることによって、現場工事関係者の移動に伴うCO₂排出量の削減を推進する。

<当社施工風景>



【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO₂排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2024年12月31日（2024年度）を基準日とする対比により、2030年12月31日（2030年度）にCO₂排出量の削減率16.2%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO₂排出量の削減率を公表し、初回判定は2026年12月31日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2024/12/31	基準日時点排出量(単位:t-CO ₂)		50.52	
基準日以降各年次	2026/12/31	2027/12/31	2028/12/31	2029/12/31	2030/12/31
基準日比削減率(%)	2.7	5.7	9.2	12.7	16.2

【SPTsの野心性】

- ・当社の削減目標は、国のNDCを上回る水準であり、設定したSPTsは野心性がある。
- ・当社自身のトラックレコードと比較しても、今後更なる削減が必要な目標であり、野心性が認められる。

【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、営業車両の電動化及び現場立地を考慮した受注選定を推進する。
- ・Scope2については、グリーン電力の導入や太陽光発電の導入を検討する。
- ・Scope3については、現場の立地や規模に併せて取引先や協力事業者の最適化を図ることで、工事に関わる事業者の現場移動や重機の使用によるCO₂排出量を削減させる。

【SPTsの妥当性】

- ・碧海信用金庫は当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、へきしんSSLのCO₂排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以上